



自分に挑戦！ チャレンジ南関中

2021年2月26日発行

文責 樹本



夢を描き、絆を深め、自分に挑戦する生徒の育成～輝きと潤いのある学校づくりをめざして～

南関町教育委員会指定「学力向上」研究校の中間発表会が終了（2/19 実施）『生徒の成長を実感』

本校では、令和2・3年度2年間の指定を受けて「学力向上」の研究に取り組んでいます。1年間の研究内容を町内の関係者に紹介する場として中間発表会を行いました。コロナ禍の中、多くの人が集まって研究会を行うことができませんので、授業参観や参観者の意見交換等は、オンラインで町内の各小学校等と接続することで行いました。

◇「学力」についてご理解ください。

テスト等で高い点数を取れば「学力が高い」と解釈して、「学力向上」であれば、高い点数を取るための研究に取り組んでいると思われるようにしてください。「学力」とは何か、法律で「学力」の定義が、以下のように示されています。

「学校教育法 第30条の2項」に記されています。整理すると以下の3つです。

- 1 基礎的・基本的な知識・技能を習得する。
- 2 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育む。
- 3 主体的に学習に取り組む態度を養う。



学力についてご理解いただいたでしょうか。単に知識理解が優れているだけでなく、子どもたちが将来生きていく上で必要な能力を育むことが「学力向上」です。

◇中間発表会（2年1組公開授業）から生徒の成長を多く実感しました。



- ① 学習で調べたことなどを班で協力してパワーポイントに上手にまとめた。
- ② 「①」を大型テレビに映しだしながら、説明の内容と一緒に映像が変わり聞く側の理解を助けるものとなった。
- ③ 説明するときは、原稿を見ないで発表した。声の大きさと発表の早さが聞く側にとって内容を理解しやすいものであった。
- ④ 聞く側も真剣に発表を聞き、疑問に思うことの質問や、自分の考えと照らし合わせて自分なりの意見を述べるのができた。
- ⑤ 発表班は、質問内容を事前に予想して、準備した内容であればすぐに回答できた。
- ⑥ すぐに回答できない質問は、班の仲間と意見を出し合いながら現時点での考えを述べた。
- ⑦ 先生方の質問を受けて、さらに調査を深めなければならないと感じた。



「パワーポイント」は、知る人ぞ知るもので最近は講演会等でよく使われているパソコンのソフトです。言葉だけでは聞く側が飽きたりしますので、映像にポイントとなる言葉や図・グラフなどを示して理解を深めさせるものです。将来、多くの生徒が使うであろうソフトです。私たちはここ数年やっと使えるようになってきました。中学生から学べることは、今後絶対に役立ちます。学校課題として、原稿を見ながら発表する、緊張のあまり声が小さい、早く言い過ぎて何を伝えたいのかわからないなどが多くありました。しかし、研究の成果から多くの課題が解決された姿が全学年に見られています。

研究の内容を詳しくお知らせすべきですが、学校だよりで伝えるのは無理ですので、学校ホームページに資料を掲載しています。



3年生「性に関する指導

講演会」実施（2/22）

「性と命について～助産師の立場から～」の演題で、福田病院の片平 起句 様からお話を聞きました。

テレビで放映がありましたように、福田病院は日本一出産が多い病院です。片平様からも、講話の始めに「年間3600人の生命誕生に立ち会っています」というお話がありました。その他に

- ・ 「性」という字は、「心」と「生」から成り立っています。だから「性教育」は、心を育てる命の教育です。
- ・ 「生命誕生」について、無事に生まれてくるのも奇跡、誕生してから15年間生きていることも奇跡です。そう思い自らの命を大事にしましょう。

- ・ 性感染症等に関するクイズを出してもらいました。気になることがあれば男子は泌尿器科、女子は産婦人科に相談してください。

・ 性には多様性があります。「体の性」「心の性」「見た目の性」「好みの性」があり、個人や年齢によって変わっていきます。などのお話を聞いて学習を深めました。



お知らせ

◇出欠の取扱いについて

新型コロナウイルス感染症対策に係る熊本県のリスクレベルが3に引き下げられました。従って、「同居の家族に発熱等の風邪症状が見られる場合」の生徒の「出席停止」扱いはなくなりました。

◇「とっば食堂」の再開（3/5 実施）

感染拡大防止のため、2月の開催を中止しましたが、3月は予定通りに第1金曜日に実施します。希望者は、前日までに申し込みを済ませ、当日は7時30分から会食できるように登校してください。